

2026年度 長野県社会福祉士会・福祉まるごと学会 実践研究発表 募集要項

- 1 学会趣旨 2026 年度福祉まるごと学会（2026 年 6 月）における実践研究発表者を募集いたします。テーマは、「社会福祉士・専門職として、実践を言葉で伝える力を高める！」です。
- 様々な実践現場で活動する皆さまによる日々の実践や得られた知見を言葉にして会員間で共有し、広く社会への問題提起や問題解決に繋げていくことは、本学会が果たすべき役割の 1 つと考えます。発表と質疑応答、意見交換を踏まえて、社会福祉士が目指す方向性を明らかにし、専門性の向上を図ります。
- 募集分野や実践研究発表の枠組みにとらわれず、様々な問題について発表や報告ができる機会を提供したいと考えておりますので、奮ってご応募をお願いいたします。
- 福祉まるごと学会は、2021 年度からオンライン方式で開催してきましたが、2026 年度は会場参加を基本としたハイブリッド方式での開催を予定しています。質疑応答は会場中心となります。ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。
- 2 運 営 長野県社会福祉士会・福祉まるごと学会運営委員会（以下「学会運営委員会」）
- 3 応募資格 ① 原則として長野県社会福祉士会（以下「本会」）の正会員であること。
② 共同研究・発表も可能ですが、研究発表者の中に本会の正会員がいること。
③ 「7 要件手続」に従い、講座受講や提出物を期日までに提出できること。
※ 基礎研修Ⅱを受講中および修了者について、研修の実践研究課題発表枠を設けます。
- 4 募集内容 応募する実践研究発表が、生涯研修制度 6 領域のどの分野に該当するか選択してください。
- (1) 募集人数 特に制限は設けません。
- (2) 募集分野 ① 権利擁護（実践と課題、多職種連携、虐待対応、権利擁護への住民参加など）
② 生活構造（生活とは、自立とは、参加とは何か等社会福祉士の役割など）
③ 相談援助（援助困難事例、専門職のジレンマ、アウトリーチの実際など）
④ 地域支援（地域のサポート体制、多職種ネットワーク、社会資源創設活動など）
⑤ 福祉経営（法人の現状と課題、人事考課、リスクマネジメント、経営実践など）
⑥ 実践研究（実践活動と評価、災害ボランティア、累犯障がい者支援など）
- 5 応募方法 裏面の様式 1 により原則 E メールにて申込みください。
- 6 応募期限 2026 年 2 月 28 日（土）
- 7 要件手続 ① 専門研修「実践研究（まとめ方）講座」に参加（2026 年 3 月上旬に開催予定）
※基礎研修Ⅱの実践研究課題発表の方の参加は任意です
② 実践研究発表原稿提出 期限：2026 年 4 月 10 日（金）
③ 添削後、4 月下旬までに応募者に返送
④ 添削後の実践研究発表原稿提出 期限：2026 年 5 月中旬を予定
- 8 発表期日 2026 年 6 月 13 日【予定】 2026 年度定時総会に併せて学会開催
① 発表時間は、原則 15 分＋質疑応答 5 分。移動時間は 5 分とする。
② 発表の開始時間・会場は、応募内容により学会運営委員会が決定する。
- 9 問い合わせ 長野県社会福祉士会事務局
（〒380-0836 長野市南県町 685-2 長野県食糧会館 6F）
電話：026-266-0294 FAX：026-266-0339 E-mail：info@nacs.w.jp

【様式 1】 2026 年度 福祉まるごと学会 実践研究発表 申込書（提出期限：2026 年 2 月 28 日）

発表タイトル	
代表発表者氏名 (ふりがな)	(会員番号:)
所属機関	
代表者連絡先	〒 住所: 電話: F A X : Eメール:
領 域	①権利擁護 ②生活構造 ③相談援助 ④地域支援 ⑤福祉経営 ⑥実践研究
基礎研修Ⅱ課題発表	基礎研修Ⅱ ☐ 受講中 ☐ 修了

【応募の流れ】

- ① 【様式１】を**Ｅメールで県土会事務局へ期限までに提出**
- ② 申込者に「実践研究（まとめ方）講座」の案内を送付。基礎研修Ⅱの課題を発表する方以外、申込者は原則として2026年3月上旬に開催予定の講座に参加する。
- ③ 第1回実践研究発表原稿（抄録）をWord **データ**で提出。添削後速やかに返送する（メールで連絡）。
- ④ 添削後に修正し、第2回実践研究発表原稿を提出、本原稿を当日の資料とする。

【抄録のきまり】…「実践研究（まとめ方）講座」において、再度確認する。

- ① 構成（研究の背景と概要、目的、方法、倫理的配慮、結果、考察、結論、参考・引用文献）。抄録の様式は、【様式2】を参照。
- ② 抄録は、長野県社会福祉士会に帰属し、研究誌や本会ホームページへの掲載を行う場合がある。
- ③ 個人情報の取扱は、「日本社会福祉士会 会員が実践研究等の事例を取扱う際のガイドライン」に従う。
参考 <https://www.jacsw.or.jp/information/documents/F.pdf>
- ④ 資料の作成から当日の発表まで、社会福祉士の倫理綱領に従い、倫理的配慮を行うこと。
参考 <https://www.jacsw.or.jp/citizens/rinrikoryo/>
- ⑤ 参考・引用文献は、日本社会福祉士会の投稿論文のきまりに従うこと。

【当日の発表】… 会場発表。発表用データをUSBメモリ等に保存し、持参する。抄録のみの発表も可能とする。

選択した分野を記入する。

【様式2】

[illegible]

＜構成・記載様式について＞

- ① あげられた項目を見出しに使用しながら、もしくはこれらを意識しながら構成してください。

研究発表

- 研究の背景と概要
 - 目的
 - 方法
 - 倫理的配慮
 - 結果
 - 考察
 - 結論
 - 参考・引用文献
- ② A 4 用紙 2 枚に、記載する。
- ③ 余白設定は原則上下 20mm、左右 20mm とし、字体は、HG 明朝 B を指定。ポイントは 11 or 10.5 とする。